

学部	学科	年次	氏名	今後の抱負等
教育研究科	高度教職実践専攻	2	匿名希望	この度は、学資金のご支援をいただきまして、誠に感謝しております。 私は、小学校時代に恩師と出会い、そのころから教師になりたいという目標を抱いてきました。また、より抱負な知識を持ち実践にも長けていけるような教師を目指すべく、教職大学院にも進学しました。現在は、宿題に関する研究および第二言語習得に関する研究を行っています。これからの研究知見は、教師になった際に役立てたいと思っています。 ご支援頂いた学資金に関しましては今後、教育実習で使用する物品の費用や、研究活動費などに充てていきたく存じます。 私の家庭は決して経済的に余裕があるわけではないため、両親からの仕送りだけでは生活をしていくだけで精一杯です。そのため、学生時代から現在まで日本学生支援機構から奨学金を受給しながら生活しています。また、学費や家賃のみならず、授業で使用する教材費、雑費などの費用もあるため、奨学金に加えてアルバイトをすることで学費や生活費、授業で使用する教材費、雑費に充てていました。 しかし昨今の COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の拡大に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置、外出自粛要請の影響を受け、家族の収入は大幅に減るとともに、私自身のアルバイトも制限されている状況です。両親は、私の学業をサポートすべく、働き続けてくれています但其の比重はなるべく減らしたい一心です。このような状況下において、学業が疎かになること、両親に大きな負担をかけてしまうことをとても懸念しておりました。ご支援頂いたおかげで学業に関する出費を懸念することなく、学業に専念することができそうです。 最後になりましたが、ご支援を下された全ての方々に心よりお礼申し上げます。ご期待を無駄にすることのないよう一層の努力を行い、社会貢献できるよう励んで参ります。
工学部	工学科	4	P.H	私は 5 年前に留学のために日本にきました。現在、琉球大学で勉強しています。 以前、私は日本が世界の主要な先進国であり、特に科学技術において、電磁機器から自動車やバイクまで多くの有名な技術製品を持っていることに気づきました。 一方、私の国はまだ発展していない国であり、私は自国が日本のように発展することに貢献したいので、日本に留学することにしました。これまで、日本で専門技術や日本文化などを学んで、より成長になっています。 将来的には、日本で学んだ知識と経験を使って、自国に貢

				献したいです。また、日本とベトナムの良好な交流関係の構築にも参加したいと思っています。 最近、コロナの影響で経済的に苦労しましたが、寄附者のご協力のおかげで、支援金をいただきました。この支援金で勉強に集中できるようになります。皆様のご支援、誠にありがとうございました。
工学部	工学科	3	匿名希望	私の家はあまり裕福ではありませんが、私は好奇心が人一倍強く、在学中に色々な経験をしたいと思っています。 興味の枠は自コースだけにはとどまりません。しかし、学校の支援を受けようと思っても、自コースに関連するもの以外は支援対象外なことがほとんどです。そこで、今回はこちらの支援を活用させていただき、学習と経験の幅を広げたいと思います。 寄附者の皆様、私にこのような機会を与えてくださり、ありがとうございます。是非有効に活用させていただきます。
工学部	工学科	3	K.N	今まで建築学コースで様々な分野を学んできて、特に構造力学と材料力学に興味を持っています。4 年次ではコンクリートの研究をしたいと考えています。 沖縄はコンクリート造の建物が多いためコンクリート構造が専門のエンジニアはとても沖縄の社会に貢献できると思います。そのために今は連続体力学、構造力学、コンクリート造を中心に学んでいます。そして将来はコンクリートを通して沖縄の社会に貢献できるようなエンジニアになりたいと思います。
工学部	工学科	1	匿名希望	この度は、学資金を支援いただき誠にありがとうございます。コロナ禍において私を取り巻く環境は変化しました。大学では、対面の授業が実施されず、緊急事態宣言下で私が入部した部活も休止してしまいました。 しかし、出来た時間で自分の糧となるように留学を申請し、選考の結果採択されました。 私の目標は、英語能力を獲得し国内外問わず就業することです。今回の留学で英語を学べるだけでなく、違う文化、価値観に触れる事で、人間としても成長できると確信しています。 私は、コロナ禍においても、学資金支援により学ぶ機会を得られたことを感謝しています。 これからも、私はどのような環境においても学ぶことを諦めず努力していく所存です。
工学部	工学科	1	匿名希望	ご寄附ありがとうございます。学業に役立てます。
工学部	工学科	3	K.O	今回は学資金支援をして頂き、誠にありがとうございます。

				コロナウイルスの影響でアルバイトの収入が大幅に減少し、家計に対する家賃の負担の割合が多くなり、まともな食事を取れていない状況でした。 今回頂いた支援金を教科書代などの修学費や食事代に充てたいと考えております。 そして、勉学に励み、将来の夢を叶えてこの恩返しをしたいと思います。 この度は誠にありがとうございました。
工学部	工学科	3	N.I	この度は、修学支援基金に採用していただきありがとうございます。 私は大学でのお金を自分のバイト代や貯金から負担していますが、コロナウイルスの影響でバイト代が減少し、金銭的に困っていました。 そこで今回採用していただいたことによる金銭的な支えはとても大きく、エネルギーを注いで勉学に励むことができます。 ご支援いただいているすべての方々に心から感謝いたします。
工学部	工学科	2	Z.Q	まずは資金支援を与えていただくことについて心より感謝いたします。このような留学生への資金支援事業は、私達のような経済的な余裕がなく、学業に励みたい人たちにとって大変心の支えになり、現実の面でも多大な改善が見込まれます。 今回の支援を受けることによって、より多くの時間を学業や日本文化に触れることに力を入れることができ、私の将来にとっても極めて大きな意義があります。 これからは一層学業に精力を注ぎ、将来は恩返しできるように夢や目標へ邁進していきたいと思います。
工学部	工学科	2	匿名希望	今回、寄附していただいた方々、本当にありがとうございます。 現在まで私の生活状況は、コロナの影響にかなり打撃を受け、苦しい状態にありました。 寄附していただいたお金は、そんな私の生活を救ってくれる大きな力になります。 このお金を大切に使い、将来大きく成長したときには、今度は私が寄附する立場に回り、この恩返しとさせていただきます。